

# 令和7年度 学業院中学校 学校経営ビジョン

公教育として

現代社会の要請

信頼される学校

学業院訓の精神

## 学校の教育目標

志と感謝をもって自己を磨き、協働して未来を築く生徒の育成

## 重点目標:つながる 努力・感動・思いやり・感謝でつながる生徒の育成

・学力向上  
・不登校生徒の減少  
・人権・同和教育の推進

### 【めざす生徒像】

- ◆ 物事をよく考え、判断し、多様な他者と協働して課題を解決する生徒
- ◆ 将来の目標に向かって意欲的に学び、自己の心身を鍛える生徒
- ◆ 自分が住む地域や学校を愛し、社会に貢献できる生徒

### 【めざす学校像】

- ◆ 歴史と伝統を重んじ、活気のある学校
- ◆ 環境美化の整った明るく、楽しく、美しい学校
- ◆ 地域に開かれ、地域に信頼され、地域に愛される学校

### 【めざす教師像】

- ◆ 教育への情熱と使命感を持ち、責任感に溢れ、愛情豊かな教師
- ◆ 時代の変化に主体的に対応し、率先垂範・師弟同行を心がけ、自己研鑽を続ける教師
- ◆ 心身ともに健康で、チーム学業院として同じベクトルで指導できる教師
- ◆ 豊かな人間性や社会性を有し、保護者・地域に信頼される教師

・チーム型組織運営  
・個々の指導力向上  
・人材育成  
・信頼される学校づくり

## 指導の重点

### 方策1：学びをつなげる＜学力向上＞

- ◆ 「とびうめルール」の徹底（学習規律・生活規律）
- ◆ 人権を大事にした言語環境の整備
- ◆ 安心して学ぶことができる居場所作り・仲間作り
- ◆ 生徒の良さが見える掲示物・環境の整備
- ◆ 自学ノート等を活用した家庭学習の充実
- ◆ 交流活動、多面・多角的な思考、書く活動、表現活動の推進
- ◆ タブレットを利用した授業づくりの推進
- ◆ 授業時間の弾力的な運用により学習効果を高める

### 方策2：友とつなげる＜仲間＞

- ◆ 道徳、人権・同和教育を充実させ、一人一人の違いを認め、自他を大切に、他者とよりよくつなぐ
- ◆ 生徒会活動の活性化及び行事や体験活動をととして望ましい人間関係を構築
- ◆ 小中連携のブロック学習を通して9年間の系統的な人権学習の推進
- ◆ 一人一人を大事にする特別支援教育の組織的な対応及び不登校生徒への支援

### 方策3：未来につなげる＜将来＞

- ◆ 総合的な学習の時間におけるキャリア教育の推進
- ◆ キャリアパスポートの効果的な活用
- ◆ 良さを認め合う環境整備（掲示物・HP・表彰等）
- ◆ 学校行事、部活動、学級等の場での認め合い

### 方策4：社会とつなげる＜地域＞

- ◆ 太宰府市ふるさと学習を推進し、観光パンフレットの充実
- ◆ SDGsを軸としたより良い未来を創造する学習の推進
- ◆ 地域の行事やボランティア活動に積極的に参加

## 経営の重点

### 方策5：チーム型校務分掌組織

- ◆ 教頭、主幹、指導、各主任・副主任、主事を中心に各会議等を活性化させ、それぞれが役割を果たすコーディネート力の育成
- ◆ 定期的な工夫された会議により効率的な仕事の推進

### 方策6：個々の指導力の向上・人材育成

- ◆ 授業力や生徒指導力等の向上のため、年1回の授業公開
- ◆ 学年部会・教科部会等で先輩教師から助言や技術等の伝承
- ◆ 基本の徹底（挨拶、姿勢、時間、掃除、棚、整理整頓、靴箱、提出物、感謝）
- ◆ 個に応じたきめ細かなチーム対応（特別支援教育、生徒指導、学習指導等）
- ◆ 各教師が自ら進んで校内環境整備、言語環境の整備

### 方策7：信頼される学校づくり

- ◆ スクールコンプライアンスの意識をもち、教育活動やサービスの徹底
- ◆ 報告、連絡、相談を徹底させ、組織的な対応の推進
- ◆ 学校評価の実施と積極的な公開
- ◆ 学校HP・通信等を活用した情報公開と理解の促進

### 方策8：地域学校協働活動の推進

- ◆ 学校・家庭・地域と協働した「地域学校協働活動」の推進
- ◆ 「地域に開かれた教育課程」の充実・発展
- ◆ 学校運営協議会及び学中ブロック（学中・水城小・国分小）の充実及び地域コーディネーターとの連携

## 人権・同和教育の推進

### 【評価指標】

・全国学テ到達率 ・学校評価アンケート結果 ・不登校生徒の数 ・生徒アンケート結果 等